

平成 23 年度 事業報告

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日)

1 基本方針

水環境保全及び公衆衛生の向上に資するため、浄化槽法定検査の効率的な推進に努め山形県、市町村及び関係機関と連携を図り、浄化槽設置者に対する適正な管理知識の普及啓発を推進し、浄化槽法定検査の受検率の向上に努めた。

また、公益法人制度改革に伴う対応については、9月9日に申請を行い、1月24日山形県知事より公益社団法人として認定された。2月1日社団法人山形県水質保全協会から公益社団法人山形県水質保全協会へ移行登記を行った。

2 事業報告

1) 浄化槽法定検査

① 浄化槽法定検査実施数

7条検査 458基 11条検査 33,115基 合計 33,573基を実施した。

② 7月20日に山形県が開催した市町村浄化槽担当者会議（県内全市町村及び指定検査機関）にて情報交換、意見交換を行った。

また、総合支庁及び管内市町村の担当者と随時情報交換を行い、行政と共に未受検者に対し周知啓発を行った。

2) 浄化槽に関する研修会・講習会

各総合支庁管内において、浄化槽の適正な取り扱いとルールを理解してもらうため浄化槽新規設置者に対する講習会を開催した。

また、浄化槽新規設置者には、講習会資料一式を対象者へ無料で配付した。

12月14日	米沢市・南陽市・川西町浄化槽新規設置者講習会	52名参加
12月15日	新庄市・最上地区浄化槽新規設置者講習会	79名参加
12月21日	尾花沢市・大石田町浄化槽新規設置者講習会	21名参加

3) 浄化槽及び一般廃棄物に関する情報提供、会報の発行

① 浄化槽及び浄化槽清掃に関する情報を随時提供した。

② 一般廃棄物処理業に関する情報「環境保全タイムズ」を随時提供した。

③ 機関紙「県水協たより第28号」、及び「号外東日本大震災被災地復旧支援活動特集記事」を10月1日に発行し、無料配布した。

④ インターネットによるホームページを活用し、浄化槽の仕組みや適正な管理知識の普及に努めている。

また、10月15日に鶴岡市の全戸48,000件に対し、浄化槽法定検査のお知らせのリーフレットを配布して法定検査と適正な維持管理の啓蒙を行った。

4) 浄化槽の維持管理に関する調査・相談・指導業務

- ① 浄化槽管理者からの相談や問い合わせ等に対し、専門的知識を持って随時対応した。
- ② 市町村等からの依頼に応じ浄化槽法定検査の結果データを解析し報告した。
22年度依頼市町村の行政組織調査の資料作成、過年度分国庫補助金対象浄化槽の検査結果等の依頼に応じてきた。
- ③ 山形県並びに市町村と共に、不適正浄化槽及び無管理・無清掃浄化槽の減少に努めた。

5) 浄化槽に関する調査研究

浄化槽に係る生活環境改善等の調査研究、並びに維持管理・放流水質向上について調査研究を行った。

10月13日「第25回全国浄化槽技術研究集会」において「NH₄-Nの簡易測定の見直しと寒冷地における低炭素社会対応型浄化槽の評価」と題して発表を行った。

また、11月6日「第7回もがみがわ水環境発表会」においても、同内容について発表を行った。

6) 水環境保全活動への支援

- ① 県内小中学生等からの要請により、簡易調査キットによる水質検査を実施し、その結果の総評等を行い、実践教育へ協力した。

6月28日 東根市大富小学校 科学クラブ 19名

7月2日 米沢市スキージャンプクラブ児童・生徒・父兄 8名

7月13日 真室川町差首鍋小学校 児童 5名

7月16日 真室川町スキースポ少児童・父兄 28名

協会青年部対応

- ② 最上川フォーラムの県内一斉調査「身近な川や水辺の健康診断」への参加とデータ集計を行った。

101団体257箇所のレーダーチャート作成と各河川の調査ポイントのプロットを行った。

- ③ 山形県地区衛生組織連合会活動に対し支援を行った。
- ④ もがみがわ水環境発表会に対し支援を行った。

7) 公益社団法人への移行

- ① 9月9日に申請を行い、1月24日山形県知事より公益社団法人として認定された。2月1日社団法人山形県水質保全協会から公益社団法人山形県水質保全協会へ移行登記を行った。

8) その他活動

- ① 日本赤十字社活動に対し支援を行った。
- ② 会員事業の円滑な推進と発展に資するため、上部団体との連携を図った。

- ③ 会員相互の意見交換と融和を図るため、相互の扶助事業並びに懇親会を開催した。

5月30日 第49回通常総会終了後に開催した。

- ④ 復旧支援活動

3月19日より多賀城市、山元町、亶理名取共立衛生処理組合への支援活動に入った。

主な支援内容については、

多賀城市 避難所に設置された仮設トイレのし尿汲み取り清掃と市内各施設の仮設トイレのし尿汲み取り清掃作業を行い、市指定の処理場へ搬入した。

3月24日から3月31日まで、

バキュームカー 延14台 作業員 延28名を派遣した。

山元町 下水道管路に溜まった汚水を吸い取り放流可能な下水升へ投入する等の作業を継続的に取り組んだ。

3月19日から5月31日まで、

バキュームカー 延252台 作業員 延311名を派遣した。

亶理名取共立衛生処理組合

同 処理組合管内より収集されたし尿や浄化槽汚泥は、岩沼市の仮設タンクに仮置きされ、その汚水を下水道山形処理区（天童市）へ午前1回午後1回のペースで40トン/日を搬送する等の支援に当たった。

バキュームカー 延70台 作業員 延84名

モービル車 延563台 作業員 延710.5名を派遣した。

搬送汚水量7,107.85トン

東日本大震災復旧・復興義援金

協賛会員 24社 協賛金総額 4,430,000円

4トンバキュームカー 1台